SDGs新聞	株式会社フジタ
ものづくりの力で未来をどんどん明るくしよう！	

☑ SDGsラジオを読んでみよう！

「建設会社」と聞くと、どんなイメージがありますか？
マンションやビル、橋などをつくっているだけというイメージがあるんじゃないでしょうか？
実は今、さまざまな建設会社がSDGsのために、いろんなことに取り組んでいます。
例えば建設会社の「フジタ」では、建物の中で使用する電気やエアコンなどのエネルギーを節約し、
また、電気をつくり出すことによって、エネルギー消費量を実質ゼロにする「ZEB（ゼブ）」という、地球にやさしいビルを建てたり。
自然が持つ力を活用することで、人々の健康につなげたり、
街や自然を守ったりする「グリーンインフラ」という方法を建物の建設に取り入れたり。
また、地域のたくさんの人々が集まって社会のために活動できる場所や建物をつくるなど、
ものづくりの力で未来のためにできることを考え、取り組んでいます。
みなさんも、身の回りで建設会社がSDGsのためにやっていることを、調べてみましょう。

☑ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：太陽光パネルのイメージ

画像参照：グリーンインフラを取り入れた建物
（フジタHPより）

「建設会社」はマンションやビル、住宅、橋、道路などをつくる、私たちの暮らしに欠かせない存在です。さらに最近では、ただ建物をつくるだけでなく、SDGsを達成するためにさまざまな活動を行う建設会社が増えてきました。建設会社の「フジタ」もそのうちの1社です。フジタでは、屋上に太陽光発電パネルをつけて電気をつくり出し、建物の中ではエアコンや電気のエネルギーを節約して、使うエネルギーの量を実質ゼロにすることをめざす「ZEB（ゼブ）」の建物をつくっています。このZEBによって、電気などのエネルギーをつくる際に排出される二酸化炭素の量を大幅に減らすことができます。

またフジタでは、建物をつくる際に「グリーンインフラ」という方法を使って、人々の健康や自然、地域を守る工夫をしています。このグリーンインフラとは木や水、土など自然が持つ力を利用して、災害を防いだり、環境を良くしたり、みんなが元気に過ごせるまちをつくる取り組みです。例えば、雨水をためて洪水を防いだり、木かげで夏の暑さをやわらげたりします。動物や植物が過ごせる場所を守り、人々のストレスを減らして健康的に過ごす手助けにもなります。またフジタは地域の人たちが集まり、社会のために活動できる場所や建物を積極的につくるなど、さまざまな角度からSDGsに貢献しています。

☑ キーワード

太陽光発電パネル

太陽の光を使って電気をつくる装置です。太陽の光がパネルに当たると、そのエネルギーで電気が生まれて使うことができます。

ZEB（ゼブ）

「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」とも呼びます。建物で使うエネルギーをできるだけ減らし、太陽光などによりエネルギーをつくって、建物内で使用するエネルギーを実質プラスマイナスゼロにする環境に優しい建物です。

二酸化炭素

CO_2とも呼ばれるガスです。空気中に自然に存在し、人や動物が息をする際に吐き出され、また、燃料を燃やすときにも発生します。温室効果ガスのため、地球温暖化の原因のひとつとされています。

☑ 対象ゴール

みなさんにできること！

SDGsのために、建設会社は他にどんなことをしているか調べてみましょう。

おさらい

- 社会では今、さまざまな建設会社がSDGsのために、いろいろな取り組みを行っている。
- フジタは「ZEB」という、建物内で使うエネルギーを実質ゼロにする技術を使った建物をつくっている。
- フジタは「グリーンインフラ」という方法を使って、人々の健康や自然、地域を守る工夫をしている。

メモ

SDGs ラジオ